

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
(事務局：全国私立学校教職員組合)
No.14 2021年10月7日(木)

「全国父母懇・私学助成をすすめる会交流集会」が1大会 参加目標を超過!! 「私学の無償化」前進へ向けて 強まる「全国のつながり」への期待

「2021年全国父母懇・私学助成をすすめる会交流集会オンライン大会」の開催が、今週末10月10日と近づいてきました。各県の組織から参加申込みがぞくぞくと届いています。10月6日の第2次締切では、参加組織目標を大きく上回り、250名を超過する参加者数となっています。
「私学の無償化」の前進をめざす、全国私学のつながりへの期待と要求が強く現れているのだといえます。

11都道府県で目標超過!! 2県で目標実現! 23都道府県262名申込み!!

全国各県の組織は、この機会を生かそうと、全力で参加組織に動きました。また、短期間の中ではありましたが、事務局から要請したしレポートもすべて承諾し届けられています。コロナ禍により否応なしに分断される状況の中で、「子どもの成長」「私学の無償化」「私学教育の自由」の前進を願う「全国私学のつながり」の再生への期待の表れといえます。

各県の奮闘は、現時点の参加申込み状況に現れています。「222名」を参加組織目標として、事務局が全国へ提示したのが9月10日。その後3週間を経た10/6現在で23都道府県から262名

の申込みが届いています。
目標超過都道府県は、北海道(11/8)、青森(3/2)、山形(10/7)、埼玉(13/7)、東京(28/20)、神奈川(41/15)、新潟(23/10)、愛知(63/40)、滋賀(8/4)、大阪(11/8)、福岡(7/6)の11都道府県に至っています。そして宮城、岡山が目標を実現させています。

また、岩手、富山、石川、福井、岐阜、奈良、香川、佐賀などですめる会のとりくみが小規模な県、組織が立ち上がったばかりの県の奮闘も、全国のつながりを多様なものにしていきます。

3分野10の分散会に18都道府県から21本のレポートが並び

要項に附属して、分散会の予定レポート等をお知らせしましたが、10月6日をもって3分野10分散会(1→3分散会、2→5分散会、3→2分散会)が確定しました。

第1分散会では、私学助成制度の拡充を求める8都道府県のさまざまなとりくみが並びます。この秋後半の運動に活かせる学びどころが多数の多様な実践が並んでいます。**第2分散会**では父母懇・すすめる会のとりくみを中心に、教職員と父母、父母同士のつながりをつくり、深め、広げる実践が9道府県から届いています。「会」の立ち上げの苦

労ばなし、コロナ禍で分断されている中でのつながりづくり、クラス通信をとおして築かれた父母と教員のつながり、全国父母懇交流集会づくりをはじめ県組織がとりくみをおとしてつながりを深めた報告など、こちらも多様な報告が並びます。**第3分散会**では、子どもの成長を語り合う各県組織のとりくみの紹介が並びます。集会あり、子どもたちの活躍あり、父母懇活動とおした大人の成長もあり、です。

ぜひこれまでの集会や学習会で出会っていない報告を聴き、これらの活動の力にしていきたいでしょう!!

Google検索第1位「私学父母懇」 みなさんも乗り遅れるな!! 最新情報は「fubokon.com」にアクセスしてキャッチしてください

集会要項の揭示、参加申込み用紙の入手、参加申込み等、インターネットの「fubokon.com」の「全国父母懇 2021 オンライン」サイトで最新情報を発表しています。本日10/7午前の段階では、Googleで「全国父母懇」と検索すると、第1位が「全国父母懇 2021 オンライン (=fubokon.com)」となっています。流行の最先端の(? 笑)「fubokon.com」をこまめにチェックして、最新の情報を入手しましょう。

参加申込みがあれば、「直前まで受け付けます!!!」

事務局は昨日を最終申込み締切日としました。しかし、今年の私学助成運動における「つながりの拡がり」をめざし、できるだけ多数の方、県の参加を求めることを判断しました。そのため、ギリギリまで参加申込みに対応する覚悟でいます。「fubokon.com」の「申込方法」のページでも、「10月6日」と“取り消し線”を付し、「直前まで受け付けます!!」と記させていただきます。

各県、最後まで参加を呼びかけよう。また、まだ申し込んでいない県組織も最後まで参加の呼びかけを広げましょう。

名前の記載法についてお願いと今後の動き

本日10/7以降、事務局から分散会希望をお尋ねするメールが届く予定です。そこに参加希望分散会名を記入してお応えください。併せてお願いです。サテライト方式を呼びかけた為やむを得ない点でもありますが、分散会への参加が偏る可能性も出ています。個人のデバイス(PC、タブレット、スマホ等)の準備・参加が可能の方は、できるだけ県で固まらずに多様な分散会への参加をお願いいたします。

Zoom 参加の際の名前の記載について

分散会参加はZoomの「ブレイクアウトルーム」という機能を用いて、当日事務局が各分散会へ招待する形で行います。

その手続きで重要になるのが、Zoom参加の際の名前の記載方法です。右を参考例にして記載しておいてください。

申込みID番号	県名	お名前
136	京都	鈴木 潤

※ 注:「申込みID番号」が不明の時は、「県名 お名前」の順で記載してください。